



主催：NPO 法人リトルターン・プロジェクト

共催：大田区資源環境部 環境政策課

協力：東京都下水道局 森ヶ崎水再生センター

■日時：2025年12月6日(土)

■午後1時半開場 午後2時開演

■会場：大田区民ホール・アプリコ 展示室(地下1階)

(JR 蒲田駅より徒歩約5分、京急蒲田駅より徒歩約10分)

■入場無料・入退場自由/定員：先着80名

問い合わせ先：大田区資源環境部 環境政策課 環境担当
☎03-5744-1365

会次第

- 開会挨拶
NPO 法人リトルターン・プロジェクト
東京都下水道局 森ヶ崎水再生センター
大田区資源環境部 環境政策課
- 本年度の整備、イベントについての報告
- 本年度の営巣結果についての報告
- 特別講演「身近なプラスチックが引き起こす海鳥への影響」
(公財)日本野鳥の会 自然保護室チーフ 山本 裕 氏
- 閉会挨拶(閉会午後4時予定)

特別講演 「身近なプラスチックが引き起こす海鳥への影響」



鳥類調査の調査方法の講義をする山本 裕氏

ふだん私たちの暮らしの中であまり見る機会がない海鳥は、今、大きく数を減らしています。海鳥の減少の3大要因は、「混獲」、「繁殖地での外来捕食者」、「気候変動」ですが、加えて、私たちの身近にあるプラスチックが減少要因の一つとなっています。

プラスチックは、海鳥に「誤飲・誤食」、「絡まり」、「有害化学物質による汚染・蓄積」を引き起こします。講演では、プラスチック生産と処理の現状、抱えている問題点を紹介し、自然界に流出したプラスチックが海鳥や海洋生態系にどのような影響を与えているか、また、懸念されるヒトへの健康被害を減らし、海鳥や海洋環境の保全のために私たち一人ひとりにできることについてお話しします。

講師 山本 裕氏 略歴

1964年山口県生まれ。(公財)日本野鳥の会自然保護室チーフ。1991年に日本野鳥の会入局。広島、三宅島でのレンジャー勤務を経て、2008年から自然保護室に所属。カムリウミスズメの保護活動やモニタリングサイト1000事業、日本のマリーンIBAの選定、海鳥の混獲対策、放射性物質の鳥類への影響調査等に携わったのち、現在は、海洋プラスチック問題への対策、野外鳥類学講座の講師、野外鳥類学論文集「Strix」の編集を担当しています。

COMEBACK LITTLE TERN



海ほたるに集結するコアジサシの群れ

2025/8/24 撮影 叔賀俊光



森ヶ崎営巣地上空を舞うコアジサシ

2007/5/4 撮影 大塚 豊